



# 学校だより



小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和3年10月19日 No.21

## ◀「ぎゅっ」とだきしめて、愛情をいっぱい注いでください▶

令和4年度に小川小学校へ入学する新1年生を対象とした就学時健康診断が10月15日（金）に行われました。そこで私から次の内容の話をしました。

みなさん こんにちは。小川小学校校長の宮澤 忍と申します。どうぞよろしくお願ひします。

本日は、就学時健康診断に小川小学校へお越しいただき、ありがとうございます。

10月に入り、新型コロナウイルス感染症の人数も減少し、予定どおり就学時健康診断が開催でき、ほっとしています。私からは、少々、お時間をいただき、2つのお話をします。

1点目は、学校の概要です。2点目は、学校からお願いしたいこと、をお話しさせていただきます。

### 1点目の学校の概要をお伝えします。

現在、小川小学校には、346名の児童が学んでおります。学級数は、各学年それぞれ1組、2組の2学級で編成されています。また、特別支援学級のひばり学級が4学級あり、合計で16学級です。そして、ことば・きこえの通級指導教室があります。現時点では、令和4年度入学される新1年生は、58名です。58名ですと、新1年生は2学級の予定です。

さて、皆様も小川町の広報等でご承知のことと思いますが、令和4年度から東小川小学校と小川小学校が一緒になります。校名は変わらず「小川小学校」です。令和4年度当初の児童数は、380名となります。現在の小川小学校は、中規模校ではありますが、先生と児童の結びつき、地域や保護者と学校との結びつきが、感じられるアットホームな雰囲気のある学校だと私は感じています。さらに学校の詳細につきましては、1月の入学説明会の折にお話しさせていただきます。

### 続いて2点目の、保護者の皆様へのお願ひをお話しします。

お子様が入学前に身に付けてほしいこと、それは、「朝の力」をしっかりつけておいてほしいということです。具体的に5点お伝えしますと

1点目は「朝、決まった時間（6：30まで）に起きるようお願いします」、2点目は「朝ごはんを食べてくる」、3点目は「朝、トイレに行き、用を足してください」、4点目は「朝、自分で着替えをさせるようお願いします」、5点目は「おはようございます、いってきます、のあいさつができるようお願いします」、この5点です。

そして、更に重要なことは、小学校に入学するまでに保護者の皆様が、お子様にたくさんの愛情を与えてほしいことです。具体的に申し上げますと、「お子様の話を聞いて認める」と「スキンシップをたくさんとる」この2点はをどうぞよろしくお願ひします。



この後、次のお話も伝えようと考えていましたが、時間の都合で省略をさせていただきました。お伝えしたかったことは次のとおりです。

人は、愛されている喜びを実感することで心が安定し、人を愛することができます。思春期に入って非行問題等をくり返す子どもたちは、必ずと言っていいほど幼少期の愛情体験が欠如しています。または、モノを豊富に与えることで子どもを喜ばせるといったような誤った愛情で育てられています。

過保護と愛情は違います。過保護とは文字通り過剰に保護することで、子どもがやるべきことを親がやっちゃったり、子どもが乗り越えるべきハードルを外してしまったりするようなことです。愛情は、相手をいとしく思う気持ち、あたたかい心です。人やものをいつくしみ、思いやる心です。

小学生の児童期には、言葉とスキンシップで愛を伝えることが大切です。特に、スキンシップによる愛情表現は、この時期を逃すとできなくなる場合があります。思春期になったら言葉や態度で「あなたはかけがえのない大切な人」というメッセージを送るとよいと言われます。そこで、ある学年が自主勉強で書いてくれた日記を紹介します。（裏面に続きます）



お母さんは、いつも学校からかえってきて、ぼくのことをぎゅっとだきしめてくれます。それで、ぼくも花たばをあげたりしています。だから、いつもお母さんがやさしくしてくれるから、ぼくもやさしくしています。

子どもを育てることは大変です。子どもを育てることは喜びです。子どもを育てられることは幸せです。

今しか、この子にしかできない子育てを大切にさせていただき、目の前のお子様  
に愛情をいっぱい注いでいただけるよう、改めてお願い申し上げます。



### 《「ママのスマホになりたい」》

就学時健康診断では、埼玉県家庭教育アドバイザー 金子典子さんから基本的な生活習慣の大切さ、子育ての目安「3つのめばえ」等のお話も頂きました。

お話の後半に「ママのスマホになりたい」という動画を視聴しました。その動画は、絵本もありますので、内容を紹介します。

かたろうさんという主人公は、ブロックで車を作り、その車をママに見てもらおうとしますが、ママはスマホに夢中。かたろうさんの声に気づきません。

ママは、テレビのCMが始まるとスマホを見て、テレビが始まるとテレビを見て、赤ちゃんが泣いたら赤ちゃんをあやして、スマホ、テレビ、赤ちゃん、この繰り返しで、かたろうさんの入り込む隙間がありません。そこで、かたろうさんは、ママに何を聞かれても「わかんねえよ!」と言って意地悪をしようと考えます。そして、ママに何を聞かれても「わかんねえよ!」と言うのですが、それでもママはスマホに夢中です。

そんなママに腹を立てたかたろうさんは、ダンボールで仕切りを作ります。ダンボールで囲われた場所は、スマホもテレビも赤ちゃんも入れない国だと言います。かたろうさんは、ママに振り向いてほしくて子どもなりに意地を張っているのです。

次の日、幼稚園の帰りの会で「おとなになったら」という絵本を読んだ後、幼稚園の先生が「みんなは、おとなになったら なにに なりたいですか?」と子ども達に問いかけます。ある男の子は、お父さんが消防士なので消防士になりたいと言います。また、ある女の子は綺麗なドレスを着たいのでお嫁さんになりたいと言います。

いよいよ、かたろうさんの順番になりますが、落ち込んだ様子で「ママの スマホに なりたい」と言いました。かたろうさんは、どうしてママのスマホになりたいのでしょうか。

かたろうさんの素直で胸を打つ言葉にドキッとする方もいるかもしれません。かたろうさんとママのように、親子で向き合う機会を作ってみてはいかがでしょうか。

### 《このようなことで困っているお子さんはいませんか?》

小川小学校では、次のような困り感をもっている児童に対して、みどりが丘小学校から通級指導の先生が水曜日、木曜日に来校して指導を行っています。

- ・ 落ち着きがなく、衝動的に行動してしまう
- ・ 予定や順番が少しでも変わると混乱してしまう
- ・ 相手の言葉や表情から気持ちを理解することが苦手
- ・ 自分の気持ちを上手く表現できない
- ・ 状況が上手く理解できず集団での行動が苦手
- ・ 一人で好きなことに集中していることが多い
- ・ 場面に関係なく一人で一方的に話を続ける
- ・ ちょっとしたことと興奮して大声を出したりする
- ・ 特定の物事にこだわる・・・等

このようなことで困っている児童は、学校生活や学習のしづらさが原因で、友だちとトラブルになったり、学習意欲がなくなったりします。

#### 通常学級に在籍しながら

- 一人一人の特性に応じた支援を受けられます。
- その児童に応じた時間(1週間に1,2時間)の指導を受けられます。

小川小学校教職員は、子どもの困り感に「早く気づいて、早く支援してあげたい」という思いでいます。